

9月議会定例会

一般質問

市政に対する質問・提言

- ・核研のプラズマレーザーを利用したガン治療は
- ・庚申山神線のり面崩壊ニカ所について



速水 栄二

◎核融合研のプラズマレーザーでガン治療の可能性と日本でのレーザー等を用いたガン治療、光医療は。

◎(総務部長) 国内六施設で治療を行っており、建設、計画中の施設は十四施設あると核研より回答をいただいております。「粒子線、レーザー、中性子などエネルギーの高いビームはガン治療の有効な技術として注目されています。ビーム技術をガン治療に応用させる事について、前向きに検討する姿勢ですが、核研が主体となって取り組む事は出来ませんが、医療機関等からの要請に基づき、共同研究ベースで参加は可能であると考えております」以上が核研の回答です。

◎(市長) 助役の頃、核研と話す中で、独自で誘致は出来ない。また、多額の経費がいると聞き、非常に残念に思った。土岐市立総合病院には、千葉県にある放医総研に関わった先生もみえる。今後は核研、所長と相談しながら、市にプラスになる事をやればと思います。

◎のり面崩壊は二月十八日土岐市震度2で起こったのか。八月十一日の駿河湾震源の市内震度3では、業者と市の責任は。

◎(建設部長) 調査をし、岐大の沢田准教授の見解で「最たる原因は地震である」報告を受けている。八月の地震では無かった。責任は市、施工者共有りません。

◎路線の請負額と二カ所の復旧工事費は。

◎(市長) 一億近くを使いますので、市民に大変申し訳ありません。

- ・市民の安心安全について
- ・期日前投票の投票所について



平林信一郎

◎交通事故多発地帯の対応について多治見警察署が発表している箇所以外に統計に出ない危険箇所もあると思われるが、市としては把握しているかお尋ねします。

◎市内では国道十九号線大富交差点が多治見署管内でワースト一〇に入っており、市内でも交通事故件数が多いと認識している。それ以外の危険箇所の把握については、具体的に何ヶ所あるか集計していません。

◎各町の地元要望で交差点の危険箇所についてどのように対応していただけるかお尋ねします。

◎毎年各自治会から交通安全確保に関する要望が多く、現地調査を行ったうえで、警察と協議したり、道路管理者として対応できるもの

については、対応しているところがあります。そうした中で交差点のカラー舗装をすることにより、注意していただけるものではないかというふうに思います。二十一年度は八ヶ所以上の計画をしております。よろしくお願ひします。



▲危険な交差点

◎期日前投票の投票所についてお尋ねします。

現在本庁の場合、四階に投票所が設けてあります。今期期日前投票に来られる有権者も多く、かなり込み合ったと聞いておりますし、車いすを利用される場合、かなり狭く感じられたとことです。期日前投票の場所の移動は検討されたい。

◎四階に設置してあるのは、二重投票等不正防止のため、名簿の確認等に万全を期すため選挙管理委員会の事務局にある四階を利用しているためです。ご理解をいただきたい。

- ・木造住宅の耐震診断と補助制度について
- ・平成二十年度未納金について



楓 博元

◎耐震診断、耐震補強工事の現況はどのようですか。

◎市内での対象家屋は約七千戸と推計され、現在までに耐震診断されたのは累計で七十五件であり、耐震補強工事が行なわれたのは五軒です。

◎現在の補助制度は家全体を補強する事が目的だが、家具の固定、耐震シェルターの設置など、もっと安価で簡単な方法もあり、市独自の補助制度を創ってはどうか。

◎耐震シェルターについては、補助制度が導入されている自治体もありますが、当市としては現在の補助制度の活用(今年度より補助要件が緩和された)を図って行きたいと考えています。

◎二十年年度の上下水道の未納金の現況と対策はどうか。

◎(市長) 上水道徴減、下水道徴増であり合計百五十万円の未納金増であり、現年分の徴収率を上げたい。

◎税関係の未納金は十九年度二十年度ともほぼ同額ですが、現況と対応をお聞かせします。

◎市税未済額は十七年度の十億円をピークに、以降減少傾向ですが、昨今の大幅な景気後退の影響から今後の増加が懸念されます。税事務所で研修をさせ、又県に徴収引継ぎする対策等をしていきます。差し押さえる法的処分を強化し、成果が出ておりますが、個別の状況を適切に調査した上で、公正な徴収に努めてまいります。



▲建物耐震診断パンフ

・市道の管理について



松浦 勝男

問 工事完了後の施工業者の補償（責任）について

答 市と請負業者は工事請負契約約款に基づき契約をしております。まず、工事請負契約約款の第四十四条 瑕疵担保では、「市は、工事目的物に瑕疵があるときは、請負業者に対して、相当の期間を定め、その瑕疵の補修を請求し、または補修にかえ、もしくは補修とともに損害の賠償を請求することができ」と規定しております。「瑕疵の補修、または損害賠償の請求は、引き渡しを受けた日から石づくり、コンクリートづくりや鉄筋づくりなどの堅固なものにあつては五年、その他の場合にあつては二年以内に行わなければならない」と定められています。

問 竣工検査はこの部署で行うのか。

答 工事検査は、まず請負業者は工事が完成したら、市へ完成届を提出します。市は、完成届を受けた日から十四日以内に検査を完了し、当該検査の結果を通知します。検査は、総務部総務課工事検査係が行っています。

問 市道の安全パトロールについて、安全パトロールの周期とチェック項目の内容は。

答 毎日行っております。チェック項目としては、道路の舗装状況クラックがあるかないか、穴があいていないか、側溝の蓋が割れていないか、道路のり面が崩れていないか、カーブミラー、道路照明などの道路付属物が傷んでいないかなどを見て回るといことです。

問 市道沿いの私有地の樹木が道路にはみ出て歩行者の障害となっている場合、どう対応するのか。

答 一般的には所有者に切って頂くようにお願いをしています。樹木が倒れて、明らかに交通に支障を来す場合などの緊急でやむを得ない時は、市が伐採などの処分を行い、所有者には事後承諾の形で報告となります。

・保有財産の適正管理について
・借地について



杉浦 司美

問 塩漬け土地について

答 下石工業団地の進捗状況については、地域の活性化も重要な課題であり、地元の意向も参酌させていただき、引き続き企業誘致を積極的に働きかけています。美濃焼ランド敷地の今後の取り組みについて、目的は東海環状自動車道、土岐川改修事業などの代替地とするべく購入したものです。建物内の収蔵保管物の移管を早急に検討し、早い時期に建物については取り壊しをしたいと考えております。現在は売却は考えておりませんが、見通しが立つ状況となれば、当初の予定通り事業代替地として利用する予定であります。

問 借地の実態について

答 文化会館の今後の対応について、文化行事、集客施設としての機能は文化プラザ、あるいはセラトピア土岐に移行しており、文化会館の目的は達成したと考えております。建物は三十七年経過しており、文化会館機能移行からは十分なメンテナンスがなされておられません。現在は、雨漏り、空調機能の老朽化、耐震基準を満たさないと想定されるなど、今後利用していくには大規模改修が必要なる状況となっております。

建物当初の目的、機能は現在求められておらず、大きな費用をかけて改修することは合理的ではないと考えております。今後は、単年度ごとの賃貸借契約でご理解を得たい。



▲旧美濃焼ランド

・土岐プラズマ・リサーチ
パークの土地利用について



佐分利 衛

問 土岐プラズマ・リサーチパークの土地利用について、企業誘致の現在の状況はどうなっているか。

答 平成十七年二月に一部街開きをして以来、チエルシージャパン株式会社（土岐プレミアム・アウトレット）など六社が立地を決定し、三社が操業を始めている状況であります。リサーチパーク内にはまだ約八ヘクタールの残存誘致地区があるのでよく検討していきたい。

問 土岐プレミアム・アウトレットの第三期増床計画の内容は。

答 現在の店舗の西側に約三十店舗増床し、来年夏のオープン予定しております。これにより駐車場の少なくなるので、C街区の四分の三を来客及び従業員の駐車場として約千台の整備をされる予定であります。

問 C街区の残りの土地について、市内企業者による観光拠点として整備する考えは。

答 C街区の残りは約一ヘクタールで、土地代がかなりかかるが、地元の経済界が地元の陶磁器、産品を売りたいという話がまとまれば、是非ともやらせていただきたい。アウトレットの来客者を待っていても市内へはおりて来ない。ここへ進出して土岐市の陶磁器、産品を売ることが活性化につながると考えている。

是非とも整備できる状況をつくっていただければ大変ありがたい。



9月議会定例会

一般質問

市政に対する質問・提言

・ハイブリット窯について



長江 光則

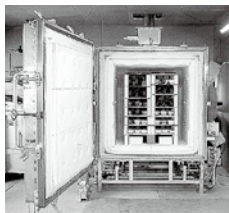
ハイブリット窯は核融合科学研究所の佐藤教授らの熱心な研究により、マイクロ波とガス、それぞれのいいところ取りをしたマイクロ波ガス融合炉が開発されました。昨年度より実用化への目処が立ったことから、研究所より市へ、市から土岐市内工業組合へ試験炉の貸与がなされることになりました。すでに下石工組、駄知工組に設置され、今年度には泉工組、土岐津工組、肥田工組、妻木工組に貸与されると聞いています。

●ハイブリット窯の特徴とその優位性について、貸与に関して期限をどう設定しているのか、期限が終わった段階での窯の扱いについて、またハイブリット窯の導入価格は？

●特徴として短時間焼成、焼きムラがなくひずみが少ない、発色が鮮やか、省エネ、省コスト、CO₂の排出量が従来のガス焼成炉の三分の一であることなど。期限については貸与がすべて終了した時点で研究成果を見ながら早い時期に協議していく。価格は〇・五㎡で千万円、一㎡で千二百万から千五百万円、二㎡で二千万円程度になるかと思われる。

●普及させるにはハイブリット窯ならではの製品の開発が不可欠であり、ハイブリット窯でしか出来ないというような付加価値を生み出さないことにはなかなか普及には繋がらないと思われます。陶磁器試験場の大きな指導力ときめ細かい支援を頂きたいと願っています。

●試験場職員で主に二名で焼成方法など全力を挙げ応援していきたいと思っています。



▲ハイブリット窯

・薬物乱用防止教育について
・地場産業循環型社会構築について



小栗 恒雄

●以前は、薬物依存症は七万人と言われましたが、数年で百二十万人にも膨れ上がりました。学校現場における薬物乱用防止教育についてご答弁ください。

●薬物乱用という問題は、学校教育でも極めて重要な問題と受け止め、現在、小学校でも喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為が健康を損なう原因となり、法律でも厳しく規制がされていることを指導しております。中学校においても三年間を通して、人の心の状態や人との関係、社会環境とも深く関わっていく大変深刻な問題であること、薬物の乱用についてはさらに加えて覚醒剤、大麻、そういった物も取り上げ、乱用が個人の発育だけでなく、人格の形成にまで大きな障害を及ぼすことで、暴力、犯罪等、大きな深刻な問題を起こしていることを学校で指導しているところでです。

●土岐市は地場産業の育成の観点から、破損食器の循環型社会についてどのように考えるか。

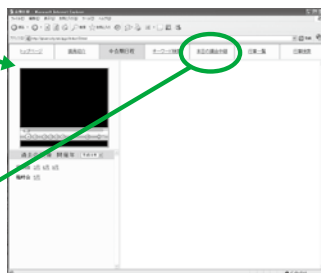
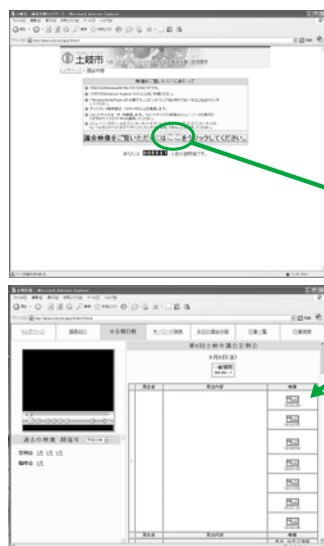
●資源を大事に生かしていく事はもっともな事で、循環型社会に向けて構築することは大事なことでと理解している。環境面においても資源からも良質な原料不足の解決にもつながるという事で、家庭から出る不用食器回収について、ごみ処理問題における重要課題と思っていますので、今後、不用食器回収体制づくりについて検討してまいりたいと思っています。



▲器にプリントされたエコマーク

議会中継システムの閲覧方法

土岐市議会中継は、“土岐市役所ホームページ”から議会中継をクリックしてご覧ください。



※会期中はライブ中継を見ることができます。
「本日の会議」をクリックし、「Live」というボタンを押してください。

※会期外はオンデマンドで映像を見ることができます。議事日程から“VOD”ボタンを押してください。